

取組名

『本を読んで、ファンレターを書こう！』

施設名

大宮西小学校

連絡先

624-0035

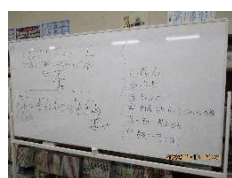
取組内容・工夫したところ・子どもの様子など

- 全校での取組として二つの企画を用意した。一つは好きな本の「ファンレター」を書くこと。もう一つは『ビブリオバトル』を行うこと。
- どちらに取り組むかは学年に決めてもらった。結果、1～4年生は両方、5年生は『読書ファンレター』、6年生は『ビブリオバトル』を行うことに決まった。
- 『読書ファンレター』は、読書月間に読んだ本の中から自分が一番面白かった本、「ベスト1」の本を選び、本の作者か登場人物のどちらかに向けてファンレターを書いた。児童は手紙を書くことが好きなので、自分が楽しいと思う気持ちや感動したことを文章に表現することに積極的に取り組む様子が見られた。できあがったファンレターは、各クラスから5枚を代表に選び学校図書館に掲示、クラス全員分を教室の個人ホルダーに掲示して、誰でも見えるようにした。来館した児童が掲示を興味深く読んでいる様子が見えた。
- 『ビブリオバトル』は、お気に入りの一冊を持ち寄ってクラスごとに『ミニビブリオバトル』を行った。トーナメント形式で行い、まずはチームで予選を、2チームの代表同士で準決勝を、最後はクラス全体で決勝を行った。本校では初めて行ったが、やり始めるといろいろと工夫が見られ内容がよくなり、決勝戦はかなり盛り上がった。各クラスのチャンプ本はブックランドに展示した。友だちが面白いと思う本は手に取りやすいようで、チャンプ本を借りていく児童が多くいた。
- 図書委員会の取組として、3つのチームに分かれて①冬休みの本の貸出に合わせて、図書委員が選んだ本の福袋を6点、用意した。②おすすめの本のPOPを作成した。③『しおりコンテスト』を開催した。どれも小規模だったが児童の反応はよかった。
- キャンペーン期間の約2か月間に上記の取組を全て行ったので慌ただしかったが、児童には楽しい取組だったようで喜んでもらえて効果的な読書推進の活動になった。

活動風景（写真）



児童が書いた『読書ファンレター』



『西っ子ビブリオバトル』取組の様子



福袋



POP



しおりコンテスト